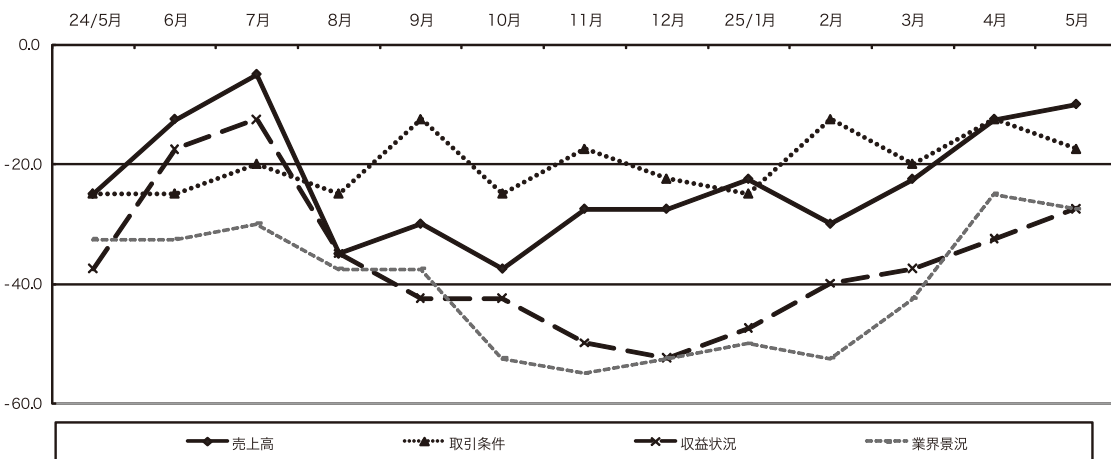


平成25年5月度 情報連絡員報告

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	24/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-25.0	-12.5	-5.0	-35.0	-30.0	-37.5	-27.5	-27.5	-22.5	-30.0	-22.5	-12.5	-10.0	2.5
取引条件	-25.0	-25.0	-20.0	-25.0	-12.5	-25.0	-17.5	-22.5	-25.0	-12.5	-20.0	-12.5	-17.5	-5.0
収益状況	-37.5	-17.5	-12.5	-35.0	-42.5	-42.5	-50.0	-52.5	-47.5	-40.0	-37.5	-32.5	-27.5	5.0
業界景況	-32.5	-32.5	-30.0	-37.5	-37.5	-52.5	-55.0	-52.5	-50.0	-52.5	-42.5	-25.0	-27.5	-2.5

概況

5月の前年同月比DI値は前月に比べ、2項目改善し、2項目悪化した。「売上高」は2.5ポイント、「収益状況」は5.0ポイント改善した。「取引条件」は5.0ポイント、「業界の景況」は2.5ポイント悪化した。今年に入ってからDI値は上昇傾向にあるが、業種や取り扱う製品によってばらつきが出ている。先行きを期待する声がある一方、円安の影響による輸入原材料等の価格が上昇しているにもかかわらず、販売価格への転嫁ができず、収益の改善が進まないとの声も多く、依然として先行きを注視する必要がある。

半導体関連は若干増産の方向(鍍金)

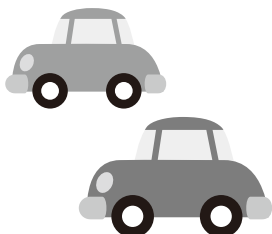
製造業

【漬物】昨年の白菜漬けを原因とするO-157、ノロウイルスの影響で、浅漬け全体の消費はまだ回復基調ではないと思われる。その他の漬物類については横ばいである。

【木材】円安の影響で輸入の外材は価格上昇しているが、国産材は横ばい傾向である。7月から受付が開始される予定の「木材利用エコポイント制度」に期待を寄せている。

【鍍金】当業界の生産量は4月と比べ若干減少してきており、特に自動車関連部品は横ばい状態である。その他めっき等は4月同様扱う製品により異なり、明暗を分けている。半導体関連は4月よりも若干ではあるが、増産の方向に転じてきている。6月以降も生産量増と見込まれ、夏場から本格化される見込みである。

【一般機器(四日市)】前月とあまり変化は見られないが、このところの株価の変動に加え、円安による輸入材料の値上がりや金利動向、エネルギー問題等、先行きの不透明を懸念する会員も多い。



非製造業

【肥料】原料の大半を輸入に頼っている肥料は円安による価格の上昇を6月から実施されるため、販売店が買い急ぐのと、メーカーが出荷を控えるため、思うような荷動きは見られなかった。

【青果】順調な入荷に市場が活気になるも、品物入荷が多くなり、価格は大きく下落している。地場産と県外産の入荷も多く、今までに経験のない価格の下落となった。一段落すれば夏野菜も順調になると期待する。

【家電】26年4月消費税増税に向けて駆け込み需要も想定されるので、今年度はお客様総巡回でお客満足度の向上を図り、省エネ家電品の提案をしていく。

【石油】5月の石油販売業全体については前年度対比ガソリン数量は3%~4%減販した。中間3品(灯油・軽油・A重油)については前年比2%~4%増販であり、特に灯油の販売が5月初旬まで寒さの影響により好調だったため、燃料全体として減販を幾分か抑えることができた。

【飲食業】毎年5月31日より1週間「世界禁煙デー」が行われている。当飲食組合では全国組織と連携を計り分煙対策のステッカーを作成し、それぞれ店舗の実情に即した貼付を奨励している。(全面禁煙・時間帯分煙・空間分煙・全面喫煙可能等)顧客ニーズに適した分煙対策を推進することにより、利用者を選択してもらえる食の環境作りを現時点では目指している。